

スポーツデータバンクの学校部活動支援に関する取組

弊社では現在の学校部活動が抱える様々な課題や問題解決を目指すため、2010年より学校部活動の支援を開始しました。

現在の学校部活動がかかえる課題

1、部活動による顧問教員の負担

- ・ 種目未経験のため指導が行えない
- ・ 平日・土日の活動による長時間労働

2、生徒に対する専門的な技術指導

- ・ 伝統で行っているストレッチや生徒の知識による練習実施のため正しい身体の動かし方ができない
- ・ 上記を理由にケガ等に繋がる可能性がある

3、指導者の活躍の場の提供

- ・ 指導者を目指しているもしくは指導者に活躍の場を提供する
- ・ アスリートのセカンドキャリアや新たな職探しとなることを目指している

現在の取組内容

1、技術指導の民間企業委託

- ・ 各教育委員会と連携して問題をかかえている学校部活動に指導者を派遣する
※保護者会（父母会）と連携する場合もあり

2、地域密着、企業連携

- ・ 2017年より新たにスタートした地域の企業と密着した指導者派遣
- ・ 学校関係側だけではなく地域の企業とも連携をとることでより、地域で抱える部活動の問題解決のサポートを充実化させる

現在は6都府県で部活動の支援を実施中

今後の取組

1、日本国内へ拡大

現在も実施できている自治体以外でも同様の課題・問題を抱えた学校部活動はあるため、国内の地域への展開

2、私立校への支援の導入

- ・現在の導入のモデルでは公立校への導入が多くなっているが、私立校でも同様の課題や私立校ならではの部活動の課題があるため

3、海外への輸出

- ・日本の学校部活動の制度は世界的に見ても珍しいシステムのため、注目をしている国が多くある。

そのため、日本の部活動を導入することで海外の児童・学生の運動機会作りをして健康に対する取組も目指す。